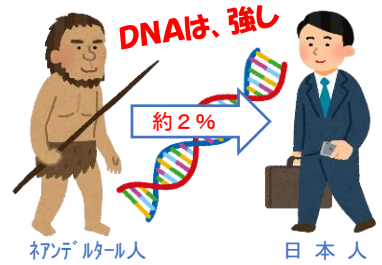


■ 「タカテツのひとり語り」 — 「ヒト」と「ネアンデルタール人」と「チンパンジー」 —

今回ノーベル医学生理学賞のスペンテ・ペーボ博士は、ネアンデルタール人のゲノム解析をした人です。当の博士は沖縄科学技術大学院大学の客員教授であり、日本とも縁のある人で喜ばしいことです。

さてネアンデルタール人は周知のとおり人種としては滅びましたが、何と私達日本人にもそのDNAが2%ほど受け継がれているとのこと。

また、ネアンデルタール人のDNAが私達の免疫を強くしているとも言われており、脈々と現代人につながっているとのこと驚きです…ネアンデルタール様々ですね。



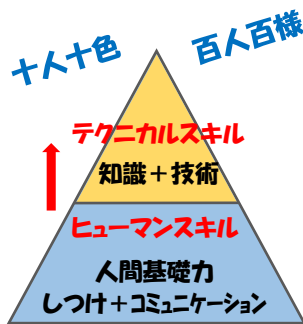
さて、このDNA 2%ということですが、ヒト（ホモ・サピエンス）とチンパンジーは1.2%しか変わらないのだそうです。これって結構ショックではありませんか(笑)。昔「猿の惑星」という映画がありましたが、人類が滅びればそれも有り得ないことではないとも思えます。

しかし、ヒトとチンパンジーはなぜこんなにも違ったのでしょうか。大きな違いは脳の重さで、ヒトは1.3~1.5kgでチンパンジー(0.5kg)の約3倍だそうです…ヒトは生き残るために過酷な試練の中で石器等を発明、進化させたりとたゆまぬ革新をしてきました。常に死と隣り合わせの超ストレスフルな環境を生き抜くため考え、行動せざるを得なかったことが脳を進化させたのでしょうか。心理学の世界では「ストレスがないと人は生きられない」というのが定説だそうです…エッ、メンタルヘルスは(さて?)。

石器を進化させるというのは想像力を要するのだそうで、「こうしたら、こうなるのでは」という仮説を立てられないと行動ができません。即ち、ヒトと他の動物との決定的違いは想像力なのです。

またこの脳は進化のプロセスで「エサを食う」といった即座・短期的利益(情動的システム)と様々な想定をしていて選択するという長期的利益を考える理性的システムがあり、これを進化人類学では二重プロセスモデルと言うそうです。「目先の利益」に走る人はサルに近いことになりそうですかね…チョット話がソレました(笑)。

■ ROKENワークス・アカデミーだより 「ROKEN的研修の考え方」その2 — ヒューマン性が最重要 —



「そんぴん」その2です(笑)。教育訓練とありますが、教育と訓練は全くの別物です。また、同じ教育と訓練をしても人は同じく育ちません。更には教育訓練という技術・技能のテクニカルスキルに重点が置かれがちです。

ROKENはなぜ社員が同じく育たないのか、俗に言う「頭が悪い」からなのかを考えてきました。人は脳に経験(学習)を蓄積します。

学習 = 知識 × 行動

知識や技術を学ぶのが教育で、これを「繰り返しやる」のが訓練であり、行動です。つまり、行動して、成功・失敗を脳にフィードバックするのが学習であり、行動しない人は学習できないこととなります。

話は変わりますが、「明るく、元気で、素直な人」とか「意欲があってコミュニケーション力があり、積極的な人」が欲しいとか言っていないですか。なぜでしょう。

これは、第1に集団(組織)になじむ力(グループ・インジェクション)と、第2に役に立つ力(タスク・インジェクション)に関わるからです。これらは、生まれてからの育ち方、つまりしつけによって育まれ、特に、好奇心・想像力と自己制御力(理性)は人間の特質です。それらの力は人に好かれ、成果を出せる力になります。これは先天的なものではなく、後天的に身に付くものですが、積極性等の要素の総体が「素質」(Makings)となります。つまり仕事社会に入る以前に各々差が生じており、それ故「十人十色」となります。この素質の差が成長に大きく作用し、これがヒューマンスキルです。これは脳生理学であり、心理学でもあります。

これを知り、気づくという自己認識が無いと、何が問題でどうすべきかが分からず、適応、進化ができないのです。このヒューマンスキルの土台があってこそテクニカルスキルであり、人間基礎力こそ最重要と考えており、これに基づいた教育と訓練が必要なのです。

■ ROKEN提供システムズ — 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

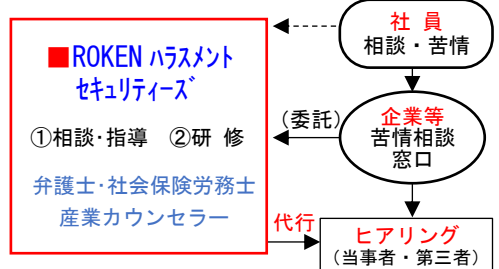
- ・ 電子申請システム(義務化近し)
- ・ 給与計算(明細書電子配信)
- ・ 出退勤指紋(カード)認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236  
E-Mail: [center@roken.jp](mailto:center@roken.jp)

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069  
E-Mail: [academy@roken.jp](mailto:academy@roken.jp)

roken 検索